Be Real 寄りそう知性 大谷大学

報道関係各位

2024年12月13日

大谷大学地域連携室
大谷大学生チャレンジ企画「地域に寄りそうプロジェクト」
学生主導の食堂運営が創出する地域コミュニティ形成
学生×地域住民×地域商店

「大谷大学を中心として地域に貢献していこう～コミュニティ食堂の開催によって孤食の解消を目指す～」（以下、GOEN食堂）では、大学周辺で生活する老若男女の孤食解消・参加者間の年代を問わないコミュニティ形成による大学周辺地域の社会貢献を目的に、7月20日（土）からスタートし、これまでコミュニティ食堂を定期開催（計9回）してきました。

GOEN食堂の活動主旨は、学生お手製カレーの提供に加え、参加者テーブルに配置される大学生との交流、食後に行う大谷大学のクラブ・サークルによる企画によって、参加者との交流を行うことです。食堂に参加した人全員に「よいご縁（GOEN）」があるようにと願ったコミュニティ形成活動が特徴です。一般的な子ども食堂とは異なり、学生が企画・運営のすべてを行い、京都市の補助金を学生自身で獲得するなど主体的に活動を行う、全国的に見ても珍しいコミュニティ食堂です。

次回の12月21日（土）開催のイベントでは、これまでの活動内容に加え、特別企画として大学近隣の商店街店舗とタイアップした商店街交流ツアーを実施します。近年、児童・大学生の地域商店への訪問機会が減少しています。この特別企画では、参加者の地域商店理解、地域活性を主眼におき、大学近辺の北大路商店街の店舗5店舗に協力いただき、参加児童・大学生が各店舗に足を運び交流を行います。今回の企画にむけて学生達は、参加した子どもやその保護者を商店主といかに交流してもらうかについて事前に協議を重ねてきました。また一方では、商店街での子どもたちの交流の場づくりを通じて、学生自身の地域理解を深める機会ともなっており、大学のまち北大路として、学生の地域活動による地域商店を含めた大学周辺コミュニティの発展が期待されます。

つきましては、年末のご多忙の時期とは存じますが、何卒取材を賜りますようお願いいたします。

※お手数ですが、本件につきまして取材のご希望がございましたら、メールアドレスまでご連絡ください。

＜開催概要＞

開催日時：2024年12月21日（土）11：30～14：40
場　　所：大谷大学食堂（講堂棟地下）
内　　容：①大学生との交流　②昼食
　　③商店街交流ツアー（12/21特別企画）
費　　用：中学生以下無料、高校生300円、大人500円

食事の様子

クラブによる企画

大谷大学生チャレンジ企画「地域に寄りそうプロジェクト」

大谷大学では、地域に開かれた大学としての社会連携事業を積極的に展開しています。本年度から実施する大谷大学生チャレンジ企画「地域に寄りそうプロジェクト」では、学生（グループ）が企画を立て、地域の人たちと共に学び合い、育ち合うことで地域連携にチャレンジする取り組みを支援するプロジェクトです。採択された学生（グループ）に対し、最大10万円の助成金を支給しています。2024年度は10件の応募があり、書類審査とプレゼンテーション選考の結果、8件を採択しました。

＜本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先＞
大谷大学入学センター（広報担当）後藤・北本・野路　Mail:nyushi-c@sec.otani.ac.jp　TEL：075-411-8114

大谷大学を中心として地域に貢献していこう
～コミュニティ食堂の開催によって孤食の解消を目指す～

ちいプロ

大谷大学生チャレンジ企画
地域に寄りそうプロジェクト

学生と地域の人たちが共に学び合い育ち合いながら取り組む活動を応援します。
詳細は以下をご確認ください！ みなさまからのご応募おまちしています！！

金額・採択数

最大10万円 （最大5グループ）

申込期間

2024年4月 5日（金）～ 5月17日（金）16：00まで

選　　考

2024年5月27日（月）～ 6月 3日（月）※時間は別途調整します

＜取り組み例＞ ※その他取り組みも歓迎！

KEY 1 歴史・文学

・文化や歴史への理解を深め、魅力を伝える活動
（活動の例：地域にある史料の整理、お祭り・地蔵盆支援、民話の収集・編さんなど）

KEY 2 共生社会

・地域や他者と交流し、多様性への理解を広げる活動
（活動の例：コミュニティカフェの運営、商店街の活性化、廃材を利用したアップサイクルなど）

KEY 3 グローカル

・異なる文化を持つ人地域との架け橋となる活動
（活動の例：観光客向けのガイド、日本語教室、多言語での地域案内や防災情報の作成など）

KEY 4 子ども・教育

・子ども達との交流などを通じ 地域の子育てを支援する活動
（活動の例：子ども食堂や子育てカフェの支援、学習支援、遊び場づくりなど）

地域連携プロジェクトに興味がある方にお伝えしたい！

地域連携の魅力！

やりがい

地域のニーズ（困りごと・発展）は様々！
そんなニーズに対して行う、みなさんの持つ力（専攻・特技・人柄）を活かした活動では、ダイレクトに結果（反応）が見られます！ 主体的な取り組みで得られるやりがいは、アルバイトやインターンシップにはない地域連携の大きな魅力です！

成長（ガクチカ）

地域連携プロジェクトは学生のみなさんによって計画→実行→報告すべてを行います。これらの活動によって、社会人に必要とされる社会人基礎力（「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素））のすべてを経験できます！ 本プロジェクトは、学生の成長を願って行うプロジェクトです。困ったことがあれば地域連携室スタッフがサポートしますので、学生生活の充実（成長）の機会としてぜひ積極的にチャレンジしてください！

交流

地域ではそれぞれのフィールドで、多くの人が活動しています。
様々なフィールド・人との交流も地域連携の魅力の一つ。地域連携活動がきっかけで地域の魅力を知ることができます！
また、地域の多世代・多業種の人との交流によって得られる知識や経験は、自身のキャリア形成にも役立ちます！

※詳細裏面

応募条件

・本学に在学する学部生及び大学院生であること。（休学中の場合はご相談ください。）
・グループ（3名以上）での応募とする。
・教職員の参画も可能とする。
・活動範囲が原則近畿圏内であること。
（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県、三重県）
・活動期間が原則2024年6月5日～2025年1月31日の間であること。
・2024年度後期に開催予定のプロジェクト交流会に参加すること。
・本学WebサイトやSNSにおける大学広報に協力すること。

助成金概要

助成金の原資は主に「学費」と「国からの補助金」です。有効に活用いただくため、
学生企画プロジェクトに直接的に必要な経費のみを助成対象とします。

◇助成対象経費◇

経費項目	使途の例
旅費交通費	事業実施に係る交通費及び宿泊費
謝金	外部講師や事業の協力者に対する謝礼金
保険料	プロジェクト実施に係る保険料
印刷製本費	冊子の印刷
賃借料	プロジェクト実施に係る会場利用料
消耗品（３万円未満）	文房具、材料費
通信費	郵送料、宅配便等
手数料	金融機関の振込手数料
その他	上記にの経費項目に当てはまらない場合

◇助成対象にならない経費◇

・固定資産の購入等に要する経費（パソコン、iPadなど）
・飲食費
（グループメンバーの飲食や親睦、打合せ等の飲食代など）
・団体及びサークル等の維持・運営に係る経費用品費
・記念品等個人給付的な経費
・個人の能力開発や技術の習得に係る経費
・領収書がない、領収書の使途が不明など学生企画プロジェクトに使用したことが確認できない経費
・その他地域連携室が学生企画プロジェクトに直接的に必要でないと認める経費

スケジュール

事前相談：2024年4月　5日（金）～ 5月17日（金） 16：00
応　　募：2024年5月17日（金）受付分まで
選　　考：2024年5月27日（月）～ 6月3日（月）
結果通知：2024年6月　5日（水）
事業期間：2024年6月　5日（水）～ 2025年1月31日（水）
報　　告：2025年2月17日（月）まで

事前相談
以下のような相談に対応いたします
・連携先について（探し方・選び方）
・事業の中身について
・事業費の使い方
・計画書の書き方
・その他

その他支援

・地域連携アドバイザーによる活動支援やアドバイス
・連携先に関する相談
・経費の使用に関する相談
・物品の貸出し（自転車、カメラ・GoProなどの撮影機材、オンラインミーティングツール、ワークショップグッズなど）
・学内施設の貸し出しに関する相談
・Amazon等を利用する場合は、大学を通じて購入することが可能です

担当　地域連携室（コミュ・ラボ）
（教育研究支援課）
事務室　響流館1階
教育研究支援課事務室
（受付時間：平日　9:00～17:00）

コミュラボInstagram